

平成 18 年度 教育 研究 業績 書

氏 名 上 野 誠

最終学歴	1990年3月国学院大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学 (日本文学専攻)
取得学位	博士(文学)
所属学会	万葉学会・上代文学会・古代文学会・古事記学会・日本書紀研究会・和歌文学会・ 全国大学国語国文学会・日本文学協会・日本民俗学会・日本山岳修験学会・東アジ ア古代学会・宗教史研究会・宗教史懇話会セミナー・奄美沖縄民間伝承学会・儀礼 文化学会・芸能史研究会・民俗芸能学会・上代文学研究会・上代文献を読む会・古 代研究会・古代談話会・美夫君志会・国学院大学国文学会・京都民俗談話会・奈良 民俗談話会・宗教民俗学会・近畿民俗学会・日本学談話会・祭祀史料研究会・奈良 大学国語教育研究会・大阪歴史学会・風俗史学会・万葉語文研究会(順不同)
現在の専門分野	日本文学(古代文学)
研究課題	万葉文化論、万葉挽歌の史的研究

【研究上の特記事項】

全国大学国語国文学会理事、上代文学会理事、日本文学協会委員、万葉学会編集委員、民俗芸
能学会編集委員、美夫君志会常任理事、古事記学会理事、国学院大学国文学会委員、日本山岳
修験学会理事、東アジア古代学会理事

【教育上の特記事項】

昨年度に引き続きコミュニケーション・カードを用いて、双方向的授業の展開を心がけた。ま
た、飛鳥・藤原・奈良などの文学遺跡の現地踏査や見学会によって、学生の古代文学への関心
を高めようと努力した。また、ホーム・ページ「上野誠の万葉エッセイ」
<http://www.manyou.jp>によって、啓発活動を行っている。さらに、本年度は特別講義に株式会
社ユーズテック社長中村淳氏を招致した。

【社会的活動】

奈良県立万葉文化館万葉古代学研究所副所長 中国・蘇州大学中日比較文化研究所客員研究員
平城遷都1300年事業協会評議員 奈良県教育研究所視聴覚教育専門委員 橿原市観光懇談
会座長 橿原市観光協会顧問 毎日新聞紙面研究会委員 飛鳥保存財団協議委員

【学内活動】(学内職歴を含む)

劇団NUDA(ぬーだ)顧問

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名 称	概 要
(著書) 1 『おもしろ古典教室』	単著	2006/4/10	筑摩書房 単行本 1頁～159頁	高校生に古典を学ぶことの楽しさを 伝える著書。
(学術論文) 1 「万葉民俗学と万葉文 化論の将来」	単著	2006/6/3	全国大学国語国文学 会編『国語国文学の 新たな視座』 82頁～92頁	学会の開設50周年にあたり、新し い研究方法の模索を論じたもの。学 史を整理して、その方法論の深化を 説いた
2 金子裕之「古代都城と 道教思想」の問いかけ るもの - 万葉歌の三山 -	単著	2006/10/1	飛鳥保存財団「明日 香風」100号記念 号 40頁～45頁	考古学から大和三山と都城との関係 を論じた金子裕之の論考を取り上 げ、それを批判したもの。
3 大伴坂郎女と駿河麻呂 の贈答歌 「怨み」を めぐる表現の特質と内 実と	単著	2007/3/25	奈良県立万葉文化館 万葉古代学研究所 『万葉古代学研究所 年報』第5号27頁 ～56頁	万葉後期の贈答歌の特質を論じた論 文で。ことに、親族間の書簡のやり とりと歌表現との関わりを論じた論 文である。